

【事例 H28-43】 福岡県

自殺未遂者支援マニュアル普及事業

【概要】 自殺未遂者については、再び自殺を企図する可能性が著しく高く、自殺対策を推進するうえで、重点的に取り組む必要がある。

自殺未遂者が救急医療機関で身体的な治療を受けた後に、何らかの精神的な支援を必要としている場合があるにもかかわらず、精神科医療等の支援を受けることなく退院し、再び自殺を企図している場合があると考えられている。

そのため、自殺未遂者への支援方法等に関する「自殺未遂者支援マニュアル」を作成し、研修を実施した。

【実施主体】 福岡県保健医療介護部健康増進課こころの健康づくり推進室

【大綱の分類】 7) 自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ

【事業予算】 2,046 千円（H27 年度）

【利 点】

- ▼自殺未遂者を支援する者が知っておくべき知識を活用した支援が期待される。
- ▼救急医療機関が自殺未遂者を精神科医療機関に紹介する様式の活用が促進される。
- ▼自殺未遂者を支援する者が自殺リスクを評価する様式の活用が促進される。
- ▼救急医療機関と精神科医療機関等が共に研修を受けることにより、連携が促進される。

【実施に至るまで】

モデル事業実施

平成24年度～平成26年度

県内の救命救急センター等に自殺未遂者支援コーディネーターの配置し、救急医療部門と精神科医療部門の連携に係るモデル事業を実施。

マニュアル作成、研修実施

平成27年度～

モデル事業の成果を踏まえ「福岡県自殺未遂者支援マニュアル（以下「マニュアル」という。）」を作成、マニュアルを活用した研修を実施。

▼マニュアルの内容

- 自殺未遂者支援の具体的方法
 - ・心理状態の確認
 - ・危険因子の確認
 - ・自殺を予防するための積極的ブレーキ
- 自殺予防のための基礎知識

SAD PERSONS スケール

Sex 男性
 Age 20歳未満と45歳以上
 Depression うつ状態
 Previous attempt 自殺企図の既往
 Ethanol abuse アルコール・薬物の乱用
 Rational thinking loss 幻覚・脳器前症候群・精神病状態
 Social support deficit 社会的援助の欠如

Organized plan 組織的な計画
 No spouse 配偶者がいない
 Sickness 身体疾患

4つの危険因子
 自殺に関する家族歴
 自殺傾向性

※SAD PERSONS スケール：1980年代、アメリカで開発された自殺の危険因子に関するスケール
 (Patterson, WM; Dohy, HH; Patterson, J; Patterson, GA (April 1983). "Evaluation of suicidal patients: the SAD PERSONS scale." Psychosomatics 24 (4): 343-5, 348-9.)
 上記の項目は、一部修正がなされている。

- ・自殺念慮の振り子モデル
 - ・自殺の危険因子確認のための基礎知識
 - ・自殺のリスクが高い人への対応姿勢
- ～TALKの原則
- ・自殺企図現場での対応、家族への対応

○専門機関の紹介

▼マニュアル配布

- ・救急医療機関、精神科医療機関及び関係機関等へ送付。
- ・県ホームページに掲載

▼研修実施

- ・救急医療従事者、精神医療従事者、教育関係者、司法関係者、行政関係者等に研修を実施。

【成果】

- ▼自殺予防に関係する多くの方に有益な情報を提供できた。

【課題】

- ・多くの方に研修に参加していただくための方策を検討する必要があること。
- ・マニュアルや研修について、より分かりやすく、より連携の促進につながる内容となるよう、常に見直す必要があること。

| | |
|-------------|---|
| 【事業種別】 | 自殺未遂者に対する支援の実施 |
| 【準備期間・人数】 | 3年・6人 |
| 【予防段階】 | 二次予防、三次予防 |
| 【自治体規模】 | 人口 510.2万人 財政規模 1兆7,770億 |
| 【自治体負担率】 | 無し（地域自殺対策強化交付金を使用） |
| 【事業対象】 | 自殺予防関係者 |
| 【支援対象】 | 自殺未遂者 |
| 【実施主体・問合せ先】 | 福岡県保健医療介護部健康増進課こころの健康づくり推進室 TEL：092-643-3265 |

※データは全てH27年度時点のもの

【参考資料・文献】

(ア)衛藤暢明「自殺予防には人材教育が不可欠！当院の自殺予防人材養成プログラムの要点を具体的に紹介します。」精神看護 14(6):11-25, 2011

- (イ) Jacobs DG et al. (井上新平 訳) 自殺行動の評価と精神医学的ケア. American Psychiatric Association (佐藤光源, 樋口輝彦, 井上新平 監訳) 米国精神医学会治療ガイドライン コンペンディアム. 医学書院, 2006
- (ウ) Patterson, WM; Dohn, HH; Patterson, J; Patterson, GA (April 1983). "Evaluation of suicidal patients: the SAD PERSONS scale.". Psychosomatics 24 (4): 343-5, 348-9.
- (エ) 「自殺未遂患者への対応 ～救急外来 (ER) ・救急科・救命救急センターのスタッフのための手引き～」 (平成21年3月 日本臨床救急医学会)
- (オ) 高橋祥友: 自殺予防プログラムとは何か. 新訂増補 青少年のための自殺予防マニュアル. 高橋祥友編著. 東京, 金剛出版, 29-45, 2008.
- (カ) 「WHO 自殺予防:警察官, 消防隊員, および第一介入者として自殺・自殺関連行動に対応する人のための手引き」「患者安全推進ジャーナル別冊 病院内の自殺対策のすすめ方」を改変